



ながれ



感謝の言葉にたどりつくまで ～夢の実現に向かって進もう～

校長 服部 みどり

各国の選手たちが熱戦をくり広げた『リオデジャネイロオリンピック』が終わりました。選手一人一人がインタビューに答える中で一番多く話していたのは『感謝』でした。たくさんの感謝の言葉が聞かれました。応援してくれたみなさんに、支えてくれた家族に、教えてくれた監督やコーチに、ともに戦った仲間にも伝えられる「ありがとう。」という感謝の言葉は、金メダルよりも美しく輝いていると私は思いました。自分の今の力を出し切った時、苦しかったけれどやり通した時に、人は自分以外の人に感謝する気持ちが自然に湧いてくるものなのではないかと思えます。「4年後を目指してまた新たな気持ちで頑張ります。」という選手も多かったです。「オリンピックに出て優勝することが小さいころからの夢だったので、夢がかなってうれしいです。」という選手もいました。

夢をもつということは素敵なことだけれど、夢を実現させるためには、目標をもつことと目標を達成するための数々の苦難と努力が必要で、それを乗り越えた人が、人としての輝きを増すのではないかとも思いました。選手や選手を支えてきた人に、そしてその人と人とのつながりに、たくさんの感動をいただいた夏でした。オリンピックの素晴らしさを改めて感じ「たくさんの感動をありがとうございます。」と伝えたい気持ちです。4年後はいよいよ『東京オリンピック』です。みなさんの中の誰かが出場するかもしれません。先輩や知っている人が出場するかもしれません。また、みんなで応援できるといいなと思えます。私もたくさん応援します。

私にとって、東京オリンピックは2回目です。子供の時に見た東京オリンピックでは、裸足のランナーアベベ選手と重量挙げの三宅選手のことを「すごいな。」と思い、私も「オリンピックに出たい。」と思いましたが、残念なことにスポーツをする環境になく自分が努力する気持ちもたりず、「夢」にすることはできませんでした。そのかわり、感動を人に伝えられるような物語を書いたり語ったりすることを『夢』にしました。今、少し叶いつつありますが、まだ『夢の実現』までは到達していません。これからも目標を見失わず、少しずつ努力して一生をかけて夢を実現させようと思えます。

戸塚第三小学校は皆さんにもお知らせしてきた通り、今年度から『新宿区地域協働学校』となりました。その事業の1つとしていくことができるよう、今年の夏は『夏休みわくわくスクール』を試行しました。『セミの羽化』『かみひこうき』『習字教室』『はんこづくり』『ダブルダッチ』『動物との共生』『飛び出すオペラ絵本』の7講座です。この講座の一つ一つが、子供たちにとっての『夢につながる体験の場』になるといいと思っています。参加して何かに気付いてほしい、何かをつかんでほしい・・・そんな気持ちで実施しました。講座を企画・実施して下さった方々、ありがとうございます。子供たちからは、「おもしろかったです。」「セミの羽化を見ることができ、オスとメスの区別も分かりました。」「ひこうきを何回も直してくれてありがとうございます。」「もっと字が上手になりたいです。」「はんこをつくるのは難しかったけれど、楽しかったです。」「作品が仕上がってうれしいな!」「先生方、ありがとうございました。」「ぜひ、また企画してください。」などの声が聞かれました。子供と一緒に保護者の方々やスクールコーディネーター、本校教職員、地域の方々の参加もありました。参加して下さった方からは、次のような感想をお聞きすることができました。大人にとっても、新たな自分を発見できる場、人との出会いに感謝できる場が、この夏にあったことは、何よりだったとうれしく思っています。

さあ、今日から2学期のスタートです。セーフティ教室や6年生の日光移動教室、3・4年生の社会科見学、学習発表会などの学校行事や地域・PTAの行事もたくさんあります。いろいろな行事や毎日の学校生活や学習の中で、いろいろな経験を積み目標や努力の大切さについて学び、子供たち一人一人が自分の『夢』や、やりたいことを見つけ、更に成長できるよう、皆様と一緒に力を尽くしてまいります。ご支援よろしく願いいたします。

